



10月に入っても30度を超える真夏日が続いていましたが、中旬を過ぎるとめっきり涼しくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、新型コロナウイルスの感染者数も減少しはじめ、時間制限していた公民館も10月1日から平常通りの開館時間に戻りました。10月からは公民館活動も徐々に再開しつつあります。松栄学級(高齢者学級)も10月にやっと開催できる運びとなりました。恒例の岸本公民館きないや祭も11月13日(土)、14日(日)の2日間、岸本公民館を会場に開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年と同様、体験、発表、飲食、物販等は中止とし、作品展示等を中心とした開催となりますが、コロナ禍での地域の皆さんや公民館教室の会員の皆さんの学習成果の発表の場でもありますので、ぜひご来館いただきますようお願いいたします。

岸本公民館長 野坂幸二

岸本中学校 技術室で「巣箱作り教室」を開催しました



9月26日(日)、岸本中学校技術室で元中学校教諭 森田道雄さん(古市)を講師に、「巣箱作り教室」を開催しました。小学校3年生から中学校1年生までの7名が参加し、朝9時から教室を開始。昼食をはさんで午後3時頃まで巣箱作りに挑みました。初めに先生から巣箱や出入り口の穴の大きさによって、巣箱を使う鳥の種類が違ってくこと、今回使用する杉板のような自然な材料を使い、鳥がいやがるペンキを塗ったりしないことなどの話を伺いました。次に設計図に沿って板を切る場所に線を引いていきました。先生から直角を出すための「さしがね」の使い方や対角線が交わる点を使うと簡単に2等分できること、さらには均等な幅の線を何本も引く裏ワザなどを教わりました。初めてノコギリや金づちを使う参加者もいて真っ直ぐにノコギリが引けなかったり、釘が斜めに入って悪戦苦闘する参加者も。先生や公民館職員の手助けを受けながら作り進めていきました。鳥の出入り口や、木に結び付ける紐を通す穴を空けるために、ホールソーやドリルといった電動工具も体験。大人に手を添えられながら慎重に穴を空けていました。組み上げる時には参加者同士助け合いながら作業をし、予定時間より早く完成させることが出来ました。最後に公民館長から「西部地区野鳥巣箱コンクール」の参加案内を受け、各自、力作を大事そうに持ち帰りました。

松栄学級 今年度の活動を開始します



10月12日(火)、岸本公民館で松栄学級 自治会役員会が開催され、今年度の事業計画が話し合われました。延期になっていた開講式・研修会を10月25日(月)に、第1回の町外研修を11月24日(水)に開催することになりました。学級生の皆さん、お待たせいたしました。

